

そうごうもんだい  
＜総合問題＞

そうごうもんだい  
総合問題

そうごうもんだい  
(総合問題 1)

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた  
次の事例を読んで、問題 114 から問題 116 までについて答えなさい。

じ れい  
〔事例〕

さい じょせい じたく ひとりぐ おな けんない す むすめ つき  
A さん(80 歳, 女性)は, 自宅で一人暮らしをしている。同じ県内に住む娘が, 月  
いちど じたく おとず  
に一度 A さんの自宅を訪れている。

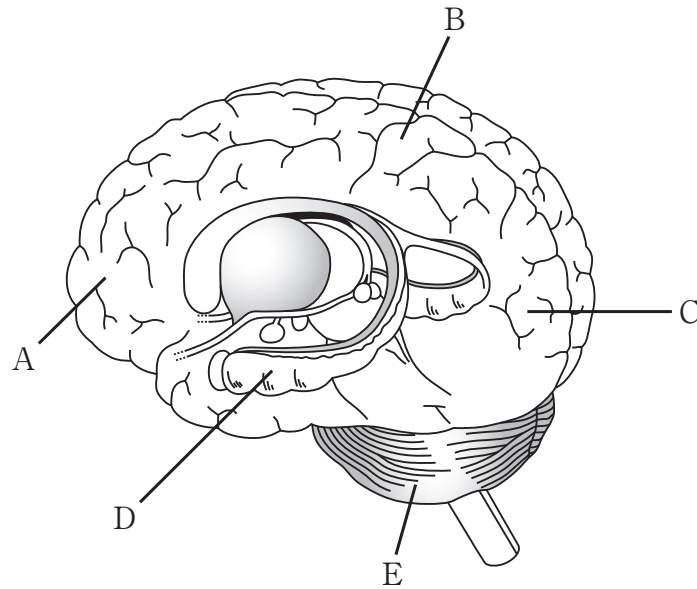
さいきん ものわす おお ふあん むすめ いっしょ  
最近, A さんの物忘れが多くなってきたため, 不安になった娘が, A さんと一緒  
びょういん じゅしん いし のう きおく おぶん けんちょ いしゆく  
に病院を受診したところ, 医師から, 脳の記憶をつかさどる部分が顕著に萎縮した  
がたにんちしょう しんだん  
アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)であると診断された。

じたく く きぼう かいごほけん ほうもんかいご  
A さんはこのまま自宅で暮らすことを希望し, 介護保険の訪問介護(ホームヘルプ  
りよう ひとりぐ けいぞく  
サービス)を利用しながら一人暮らしを継続することになった。

ひ むすめ ていきょうせきにんしゃ ことし ひとり ゆき  
ある日, 娘からサービス提供責任者に, 今年は A さんが一人で雪かきができるか  
ふあん そうだん ていきょうせきにんしゃ いっしょ ちく  
不安であると相談があった。そこで, サービス提供責任者が, A さんと一緒に地区  
みんせいいいん そうだん きんじょ ひと ゆき  
の民生委員に相談したところ, 近所の人たちが雪かきをしてくれることになった。

もんだい ず のう もしきてき しめ  
問題 114 図は脳を模式的に示したものである。

のう いしゆく けんちよ ふい もっと てきせつ えら  
Aさんの脳に萎縮が顕著にみられる部位として、最も適切なものを1つ選  
びなさい。



- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E

もんだい ちいきほうかつ ゆき かだい たいおう しめ  
問題 115 地域包括ケアシステムにおいて、Aさんの雪かきの課題への対応を示すものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自助 じじょ
- 2 互助 こじょ
- 3 介助 かいじょ
- 4 扶助 ふじょ
- 5 公助 こうじょ

もんだい ひ ほうもんかいごいん じたく おとず いっぽうか  
問題 116 ある日、訪問介護員(ホームヘルパー)がAさんの自宅を訪れ、一包化された薬の服薬状況を確認したところ、残薬があった。Aさんに服薬状況を確認すると、薬を飲んだかどうか、わからなくなることがあるという返答があった。訪問介護員(ホームヘルパー)は、Aさんとの会話から、日時に関する見当識に問題はないことを確認した。

くすり ふくやくじょうきょう かくにん ざんやく ふくやくじょうきょう かく  
Aさんの薬の飲み忘れを防止するための対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 一包化を中止する。 いっぽうか ちゅうし
- 2 インフォーマルな社会資源の活用は避ける。 しゃかいしげん かつよう さ
- 3 お薬カレンダーの使用を提案する。 くすり しょう ていあん
- 4 一人では薬を服用しないように伝える。 ひとり くすり ふくよう つた
- 5 薬の飲み忘れに気がついたとき、2回分を服用するように伝える。 くすり の わす き かいぶん ふくよう つた

そうごうもんだい  
(総合問題 2)

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた  
次の事例を読んで、問題 117 から問題 119 までについて答えなさい。

じ れい  
〔事例〕

B さん(75 歳, 男性, 要介護 3)は, 1 年前に脳梗塞(cerebral infarction)を発症し, みぎかたまひ じたく かぐ て じりきほこう がい 右片麻痺がある。自宅では, 家具や手すりにつかまって, なんとか自力歩行し, 外 しゅつじ くるま しょう はな たしゃ はなし 出時は車いすを使用していた。うまく話すことができないこともあるが, 他者の話 き と りかい もんだい かいごほけん りよう を聞き取って理解することは, 問題なくできていて, 介護保険サービスを利用しながら ひとり く すう げつまえ き が にゅうよく かいじょ ひつよう ざいたくせい ら, 一人で暮らしていた。数か月前から着替えや入浴に介助が必要になり, 在宅生 かつ むずか しゅうかんまえ かいごろうじんふくししせつ にゅうしょ 活が難しくなったため, 1 週間前に U 介護老人福祉施設に入所した。

にゅうしょじ めんだん じぶん ちから ある いし しめ かいごろう 入所時の面談で B さんは, 自分の力で歩きたいという意思を示した。U 介護老 じんふくししせつ かいごふくしし たんとうしゃ せんてい かいごふくしし 人福祉施設では, C 介護福祉士を B さんの担当者に選定した。C 介護福祉士は, カン ファレンス(conference)での意見に基づいて, B さんが, よんでんづえ しょう あんぜん 四脚杖を使用して, 安全に しせつない ほこう たんきもくひょう かいごけいかく りつあん 施設内を歩行できることを短期目標とした介護計画を立案した。

もんだい にゆうしょ げつ けいか かいごふくしし よんでんづえほこう よう  
**問題 117** 入所から2か月が経過した。C介護福祉士は、Bさんの四点杖歩行の様  
 す かんさつ ひだりりつきやくそう くら みざりつきやくそう みじか き  
 子を観察したところ、左立脚相と比べて、右立脚相が短いことが気になった。  
 たんきもくひょう たっせい りがくりょうほうし そうだん てんとうよぼう かんてん  
 Bさんの短期目標を達成するために、理学療法士と相談して、転倒予防の観点から、  
 みまも ほこう かいごふくししよく いち あらた しゅうち  
 見守り歩行をするときの介護福祉職の位置について、改めて周知することにした。  
 よんでんづえほこう みまも かいごふくししよく た いち もっと てきせつ  
 Bさんの四点杖歩行を見守るときに介護福祉職が立つ位置として、最も適切な  
 えら  
 ものを1つ選びなさい。

- 1 Bさんの右側前方  
みざがわぜんぽう
- 2 Bさんの右側後方  
みざがわこうほう
- 3 Bさんの真後ろ  
まうし
- 4 Bさんの左側前方  
ひだりがわぜんぽう
- 5 Bさんの左側後方  
ひだりがわこうほう

もんだい かいごふくしし ほうほう かん つぎ  
**問題 118** C介護福祉士がBさんとコミュニケーションをとるための方法に関する次  
 きじゆつ もっと てきせつ えら  
 の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。  
 ほちょうき しょう  
 1 補聴器を使用する。  
 ごじゅうおんひょう しょう  
 2 五十音表を使用する。  
 しゅわ つか  
 3 手話を使う。  
 おお こえ はな  
 4 大きな声で話しかける。  
 かいとう じつもん ちゅうしん もち  
 5 「はい」「いいえ」で回答できる質問を中心に用いる。

問題 119 入所から3か月後、C介護福祉士は、Bさんの四点杖歩行が安定してきたことを確認して介護計画を見直すことにした。C介護福祉士がBさんに、今後の生活について確認したところ、居室から食堂まで、四点杖で一人で歩けるようになりたいと思っていることがわかった。

Bさんの現在の希望に沿って介護計画を見直すときに、最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 生活場面の中で歩行する機会を増やす。
- 2 評価日は設定しない。
- 3 ほかの利用者と一緒に実施できる内容にする。
- 4 他者との交流を目標にする。
- 5 歩行練習を行う時間は、出勤している職員が決めるようにする。

そうごうもんだい  
(総合問題 3)

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた  
次の事例を読んで、問題 120 から問題 122 までについて答えなさい。

じ れい  
〔事例〕

D さん(38 歳, 男性, 障害支援区分 3)は, 1 年前に脳梗塞(cerebral infarction)を  
はっしょう ひだりかたまひ こういしょう ひだりどうめいはんもう しっこう げんざい しゅう  
発症し左片麻痺となった。後遺症として左同名半盲, 失行もみられる。現在は週 3  
かい きょたくかいご りょう つま ふたり せいかつ  
回, 居宅介護を利用しながら妻と二人で生活している。

ひ うわぎ そで あたま い かいごふくしじょく こえ  
ある日, 上着の袖に頭を入れようとしている D さんに介護福祉職が声をかけると,  
「どうすればよいかわからない」と答えた。普段は妻が D さんの着替えを手伝っている。  
しょくじ しょう じぶん た ひだりがわ た もの のこ  
食事はスプーンを使用して自分で食べるが, 左側にある食べ物を残すことがある。

ひだりがわ み うご はんのう はな  
D さんは, 「左側が見づらい。動いているものにもすぐに反応ができない」と話した。

さいきん にちじょうせいかつ なか すこ ふ ひと こう  
最近, 日常生活の中で, 少しずつできることが増えてきた。D さんは, 「人と交  
りゅう きかい ふ かんたん せいさんかつどう い  
流する機会を増やしたい。また, 簡単な生産活動ができるようなところに行きたい」  
かいごふくしじょく そうだん  
と介護福祉職に相談した。

もんだい しっこう てきせつ えら  
問題 120 D さんにみられた失行として, 適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 構成失行  
こうせいしっこう
- 2 観念失行  
かんねんしっこう
- 3 着衣失行  
ちゃくいしっこう
- 4 顔面失行  
がめんしっこう
- 5 観念運動失行  
かんねんうんどうしっこう

もんだい しょくじ しえん かん つぎ きじゆつ もっと てきせつ  
問題 121 Dさんへの食事の支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ  
えら  
選びなさい。

- 1 食事の量を少なくする。  
しょくじ りょう すく
- 2 テーブルを高くする。  
たか
- 3 スプーンを持つ手を介助する。  
も て かいじょ
- 4 バネつき箸に替える。  
ばし か
- 5 食事を本人から見て右寄りに配膳する。  
しょくじ ほんにん み みぎよ はいぜん

もんだい かいごふくししょく せいさんかつどう りょう ていあん  
問題 122 介護福祉職は、Dさんに生産活動ができるサービスの利用を提案したいと  
かんが  
考えている。

つぎ はつげんないよう あ しょうがいふくし もっと てきせつ  
次のうち、Dさんの発言内容に合う障害福祉サービスとして、最も適切なもの  
えら  
を1つ選びなさい。

- 1 就労継続支援A型での活動  
しゅうろうけいぞくしえん がた かつどう
- 2 地域活動支援センターの利用  
ちいきかつどうしえん りょう
- 3 療養介護  
りょうようかいご
- 4 就労定着支援  
しゅうろうていちゃくしえん
- 5 相談支援事業の利用  
そうだんしえんじぎょう りょう



そうごうもんだい  
(総合問題 4)

つぎ じれい よ もんだい もんだい こと  
次の事例を読んで、問題 123 から問題 125 までについて答えなさい。

じ れい  
〔事例〕

E さん(35 歳, 男性)は, 自閉症スペクトラム障害 (autism spectrum disorder) が  
あり, V 障害者支援施設の生活介護と施設入所支援を利用している。E さんは, 毎日  
のスケジュールを決め, 規則や時間を守ってプログラムに参加しているが, 周りの人  
や物事に関心が向かず, 予定外の行動や集団行動はとりづらい。コミュニケーション  
は, 話すよりも絵や文字を示したほうが伝わりやすい。

E さんが利用する V 障害者支援施設では, 就労継続支援事業も行っている。災害  
が起こったときに様々な配慮が必要な利用者があるため, 施設として防災対策に力  
を入れている。また, 通所している利用者も多いので, V 障害者支援施設は市の福祉  
避難所として指定を受けている。

もんだい かん つぎ きじゆつ もっと てきせつ  
問題 123 E さんのストレングス (strength) に関する次の記述のうち, 最も適切な

えら  
ものを 1 つ選びなさい。

- 1 行動力があり, すぐに動く。
- 2 自分で決めたことを継続する。
- 3 新しいことを思いつく。
- 4 コミュニケーション力が高い。
- 5 いろいろなことに興味をもてる。

もんだい しょうがいしゃしえんしせつ ていきてき さいがい そな ひなんくんれん おこな  
問題 124 V 障害者支援施設では定期的に災害に備えた避難訓練を行っている。

とくせい こうりょ じっし ひなんくんれん かん つぎ きじゅつ もっと てきせつ  
Eさんの特性を考慮して実施する避難訓練に関する次の記述のうち、最も適切

えら  
なものを1つ選びなさい。

- さいがいじ しょう いしでんたつ ようい  
1 災害時に使用する意思伝達のイラストを用意する。
- ひなんせいかつ そうてい しょくじどう につか しゅうだん おこな  
2 避難生活を想定して、食事等の日課を集団で行えるようにする。
- よこく ひなんくんれん おこな  
3 予告せずに避難訓練を行う。
- ひなんくんれん たんどく おこな  
4 Eさんの避難訓練は単独で行う。
- ひなん えんじょ ひと たいおう か  
5 避難を援助する人によってEさんへの対応を変える。

もんだい しょうがいしゃしえんしせつ さいがいはっせい そな と く かつどう もっと てきせつ  
問題 125 V 障害者支援施設が、災害発生に備えて取り組む活動として、最も適切

えら  
なものを1つ選びなさい。

- じぜん う い たいしょうしゃ かくにん  
1 事前に受け入れ対象者を確認しておく。
- さいがいはけんいりょう しえんじんいんかくほけいやく むす  
2 災害派遣医療チーム(DMAT)と支援人員確保契約を結ぶ。
- しょくいん やくわりぶんたん じょうきょう おう ば き  
3 職員の役割分担は、状況に応じてその場で決める。
- ようはいりよしゃ とうりょうけいかく さくせい  
4 要配慮者のサービス等利用計画を作成する。
- ようはいりよしゃ じぶん ひなん うなが  
5 要配慮者に自分で避難するように促す。